

内容		内容項目	具体的な活動例			カリキュラム改善の視点
内学習期		話すこと・聞くこと 大切にしたい力	話す	話し合う	聞く	
Ⅰ期	小学校第1学年	・事物の説明や経験の報告をしたり、それらを聞いて感想を述べたりする。 ・たずねたり応答したり、グループで話合っ て考えを一つにまとめたりする。 ・場面に合わせあいさつしたり、必要なことについて、身近な人と連絡を合ったりする。 ・知らせたいことなどについて身近な人に紹介したり、それを聞いたりする。	身近なことや経験したことなどから話題をきめ、必要な事項を思い出して話す。	姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話す。	大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞く。 感想を述べる。	・「話し方名人かきくけこ」を提示して話し方のルールを学ぶ。 ・「聞き方名人あいいうえお」を提示して聞き方のルールを学ぶ。 ・話したいことを探す活動を丁寧に行之、伝えたいことを大切にしながら話す。 ・興味をもって聞けるように感想を考えながら聞く。
	第2学年		相手に応じて話す事柄を順序立てて、丁寧な言葉、普通の言葉との違いに気を付けて話す。	声のものさし 0 はなしをきく 1 となりの人と 2 はんで 3 みんなの前で	事物の説明・経験の報告を順序だてて	話かんたんな文で しきこえる声で 方くちを大きくあけて 名けっしていそがず 人ことばづかいにきをつけて 聞あいてを見て きいっしょうけんめい 方うなずきながら 名え顔で（はく手） 人おわりまで
	第3学年	・出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりする。 ・学級全体で話し合っ て考えをまとめたり、意見を述べ合ったりする。 ・図表や絵、写真などから読み取ったことをもとに話したり、聞いたりする。	話の中心を決め、必要な事項について調べたり、要点をメモしたりし筋道を立てて話す。	短い言葉でメモする、メモを見て話す練習をする。	話の中心に気をつけて聞き、質問したり、自分の考えと比較して感想を述べたりする。 必要な事項について要点をメモして聞く。	・学習の中で気付いたこと、生活の中で感動したこと、自分だけの発見等、話したいことの内容をよく考え、選んで話す。 ・資料の内容を事前に話し合い、何を伝えたいか、どの資料を使うと有効か、発表の仕方 で気を付けることは何かを考えて話す。 ・メモの練習を行い、メモをとりながら話を聞くことができるようにする。 ・議題箱を設けるなど、話し合いの議題を選び、児童の自発的な参加を促す。 ・議題の流れをマニュアル化してどの児童も議長ができるようにする。
	第4学年		相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立てて、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話す。	出来事の説明・調査の報告・インタビューを中心をはっきりさせて		
Ⅱ期	第5学年	・考えたこと伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係づける。 ・目的や意図に応じて事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話す。 ・話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。 ・互いの立場や意図をはっきりさせながら計画的に話し合う。	目的や意図に応じて構成を工夫して話す。 敬語の適切な使い方を理解して使う。共通語と方言の違いを意識する。	資料を提示しながら、説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりする。	事実と感想、意見を区別して聞く。	・学校や家庭や地域で経験したことの中から話題を決め、材料を集め話題を設定する。 ・資料からの引用や図なども利用して、効果的に話す。 ・求める情報を得るために、相手や状況に応じて判断し、対応できる力、手に入れた情報を適切に整理したり、まとめたりする力をはぐむ。 ・改まった場で、大人びた言葉を用いてスピーチをするという学習を通して、中学校という新しい世界での成長を促す下地を形成する。
	第6学年		音量・速度・抑揚・間の取り方・表情・しぐさなどに気を付けその場に最も適切な話し方をする。 たくさんの資料を用意する。根拠をもって、自分の考えをはっきりさせる。形式や話題に興味をもつ。	資料を提示しての報告・説明を目的や意図に応じて調べたことやまとめたことに基づいて討論する。	自分と比べながら共通点や相違点、関連して考えたことなどを整理して聞く。	
	中学校第1学年	・目的や場面に応じて構成を工夫して話す。 ・意図を考えながら聞く。 ・話題や方向をとらえて話し合うなどする。	社会生活の中から話題を決め、多様な方法で資料を集め、材料を整理して話す内容を構成する。 事実と意見、話の中心と部分に気を付けて話し、聞き手の反応や意見に注意しながら話す。	話される情報を正確に聞き、自分の考えと共通点や相違点を整理して聞く。 論理の展開に気を付けて聞き合い、自分の考えを深める。		
Ⅲ期	中学校第2学年	・目的や場面に応じた言葉や考えの違いを踏まえて話す。 ・考えを述べながら聞く。 ・相手の立場を尊重して話し合うなどする。	目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話す。 スピーチ・プレゼンテーション等を場の状況や相手の状況に応じて	異なる立場の人にも分かるように自分の考えをまとめたり、相手の立場や考えを尊重し、目的にそって話し合ったりする。		
	中学校第3学年	・目的や場面に応じ、相手の様子に合わせて話す。 ・表現の工夫を評価しながら聞く。 ・課題の解決に向けて話し合うなどする。	課題を決め、資料などを活用して説得力のある話をする。 状況や相手に応じて言葉を使い分けるとともに、敬語を適切に使い、ふだんの自分の話し言葉について考えを深める。	聞き取った内容や表現の仕方を自分の表現に生かす。 話し合いの展開や進行を工夫し、お互いの考えを生かし合う。	古典や名作などを覚えて暗唱する。 （例）奥の細道・平家物語・徒然草等	